

# 健康福祉委員会資料

## (健康福祉局関係)

### 2 請願・陳情の審査

(2) 陳情第30号 補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）への医療費助成についての陳情

資料 身体障害者補助犬への医療費助成について

令和5年11月22日

健康福祉局

## 1 身体障害者補助犬法

平成 14 年に身体障害者の自立と社会参加を促進するため身体障害者補助犬法（以下「補助犬法」という。）が成立。

この目的を果たすために、

- ・身体障害者補助犬（以下「補助犬」という。）を訓練する訓練事業者には質の高い補助犬の育成
- ・社会には補助犬を同伴した障害のある人の受け入れ
- ・補助犬ユーザーには補助犬の衛生・健康・行動の管理、が義務付けられている。

## 2 補助犬の役割と補助犬ユーザー

### (1)補助犬の役割

補助犬とは、身体障害者の日常生活を支援するものであり、「盲導犬」、「介助犬」、「聴導犬」を総称するもの。補助犬は、補助犬法に基づき訓練・認定されており、役割は次のとおり。

#### (ア) 盲導犬

視覚障害により日常生活に著しい支障がある者のために、障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりすることで街中を安全に歩けるようサポートする。

#### (イ) 介助犬

肢体不自由により日常生活に著しい支障がある者のために、物の拾い上げ及び運搬、着脱衣の補助、体位の変更等、肢体不自由を補う補助を行う。

#### (ウ) 聴導犬

聴覚障害により日常生活に著しい支障がある者のために、ブザー音、電話の呼出音、その者を呼ぶ声、危険を意味する音等を聞き分け、その者に必要な情報を伝え、及び必要に応じ音源への誘導を行う。

### (2)補助犬ユーザーになれる者

身体障害者手帳の交付を受けており、補助犬を必要とする障害者。

また、補助犬の育成・訓練事業者の実施する基礎訓練、合同訓練等を受け、補助犬の扱い方やユーザーとしての義務（衛生管理など）を守れる者。

## 3 補助犬に係る施策

### (1)育成・給付

補助犬を育成するための訓練を訓練事業者に委託し、申請者に補助犬を給付（貸与）。都道府県（障害者総合支援法の地域生活支援事業）事業

### (2)苦情・相談窓口

補助犬の同伴・使用に対するトラブル等の相談窓口を設置（本市においては、健康福祉局障害者社会参加・就労支援課）、都道府県・政令市・中核市（補助犬法第 25 条及び第 26 条）事業

### (3)理解促進

補助犬の普及に資する取組（広報物の配布等）を実施（本市では「ほじょ犬ステッカー」を配布・掲示）、国・地方公共団体（補助犬法第 23 条）事業

## 4 補助犬の健康等管理費用

健康と衛生の管理費用のおおむねの額は次のとおり。

種類	内容	推奨頻度	参考価格/年
健康診断	問診、視診、触診、聴診、便検査、尿検査	1年に1回以上 (7歳以降は2回)	約 15,000 円～ 50,000 円
	血液検査、レントゲン検査	1年に1回以上	
予防接種	狂犬病ワクチン	1年に1回	約 4,000 円

	犬混合ワクチン	1年に1回	約10,000円
予防措置	フィラリア予防薬	1年に8回	約30,000円
	ノミ・マダニ予防薬	1年に8回	約30,000円

年額 約89,000円から124,000円

厚生労働省の「補助犬衛生管理の手引き」より

## 5 本市及び他の政令市における補助犬に係る助成等の取組み

### (1)本市 登録申請手数料等の免除

	項目	金額	実施主体
1	犬の登録（鑑札の交付を含む）申請手数料	3,000円	本市
2	犬の鑑札の再交付手数料	1,600円	本市
3	犬の狂犬病予防注射済票交付手数料	550円	本市
4	狂犬病予防注射済票再交付手数料	340円	本市
5	犬の狂犬病予防注射手数料	約4,000円	川崎市 獣医師会

### (2)他の政令市が行っている助成

#### (ア) 医療費の助成

都市名	内容	備考
横浜市	医療証を使用した定期検診等に要した費用を全額助成	
神戸市	健康管理費（月額3,600円～7,000円）	低所得者が対象 （所得区分有）
広島市	健康管理費（月額5,000円）	市民税所得割額4万円未満が対象

※神奈川県においては、県獣医師会（横浜市及び川崎市除く）が1頭につき年額4万円の助成を行っている。

#### (イ) 飼料費の助成

都市名	内容
仙台市	（公益財団法人）日本盲導犬協会を通じて飼料を現物給付（年額42,000円以内）
名古屋市	飼育費の助成（月額4,900円）
岡山市	飼育費の助成（月額6,000円）

## 6 補助犬の稼働頭数

(R5.4.1現在)

	盲導犬	介助犬	聴導犬	計
全国	836頭	57頭	56頭	949頭
神奈川県	63頭	6頭	7頭	76頭

厚生労働省ホームページより

※本市の狂犬病予防注射済票交付手数料の免除申請から類推した盲導犬9頭

※盲導犬の活躍期間は約8年間、令和4年度において国内の指定法人が1年間に育成した盲導犬105頭のうち約74.3%（78頭）が代替え、新規は約25.7%（27頭）「2022年度盲導犬訓練施設年次報告書」

## 7 陳情に対する本市の考え方

補助犬法は、身体障害者の自立と社会参加の促進を目的として定められ、補助犬ユーザーには補助犬の健康・衛生等の管理が義務づけられている。

一方、補助犬ユーザーは補助犬の利用当初から年月を経て経済状況等の変化もあることから、法の趣旨や他都市の状況を踏まえ、医療費助成について検討する。